

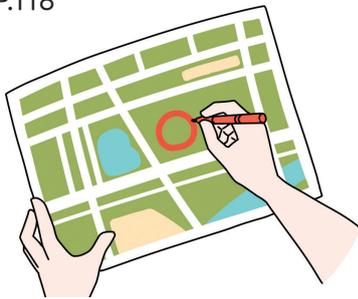
ハザードマップの使い方

ハザードマップを確認して、普段から災害時に自分がとるべき行動を考えておきましょう。

1. 自宅の位置を確認しよう

自宅の場所をマップに書き込みましょう。

▶▶▶ P.44～P.118



2. とるべき避難行動や避難所の位置を確認しよう

P.10～P.13を参考に、とるべき避難行動を確認。避難所に立退き避難する場合は、避難所の位置を調べておきましょう。

▶▶▶ P.12～P.13 「避難行動の選択の目安」

▶▶▶ P.36～P.37 「枚方市の避難所」



4. 実際に避難経路を歩いてみよう

地図で選択した避難経路が安全かどうか、そのほかに危険なところや注意が必要な場所がないか、避難にかかる時間も確認しておきましょう。



3. 避難経路を考えてみよう

「幅の広い道路を選ぶ」「川や斜面の近くを避ける」など、安全な経路を選びましょう。

▶▶▶ P.44～P.118 「ハザードマップ」



5. 災害や避難について話し合おう

家族だけでなく、地域の方々、職場の方々と災害や避難について情報を共有しましょう。



風水害・土砂災害について → P.2

応急手当 → P.34

地震について → P.16

安否確認 → P.35

非常持ち出し品 → P.28

ハザードマップの種類 → P.41

雨の降り方や土地の形状によっては、浸水想定をしている深さが実際の深さと異なる場合や浸水想定していない区域でも洪水や土砂災害が発生することもありますので、十分に注意してください。

ハザードマップの種類

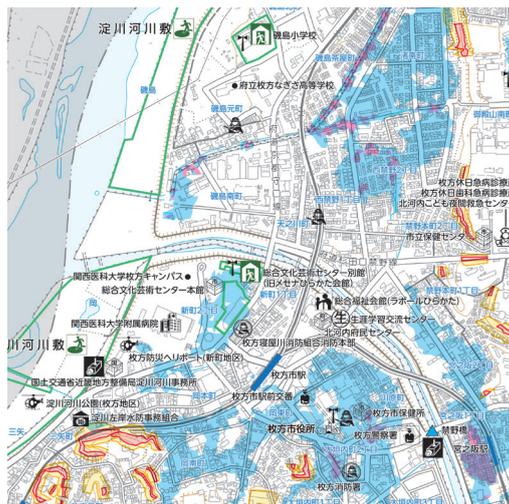
洪水ハザードマップ

この洪水ハザードマップは水防法第14条に基づいて作成しています。想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域と浸水した場合に想定される水深を表示した浸水想定区域図です。



内水ハザードマップ

枚方市においては、水防法第14条の2に基づく雨水出水浸水想定区域および第14条の3に基づく高潮浸水想定区域が未指定であるため、内水ハザードマップは本市独自のシミュレーションに基づいて作成しています。枚方市で過去に発生した大雨(1時間雨量108mm)が市内全域で降った場合の浸水範囲と深さのシミュレーションにより作成しました。



土砂災害ハザードマップ

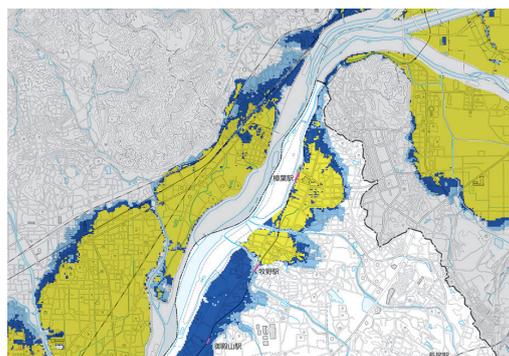
大阪府が調査・指定した土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域に基づいて作成しています。詳細は大阪府ホームページをご参照ください。

http://www.pref.osaka.lg.jp/damusabo/dosyahou/d_sitei.html



浸水継続時間

この浸水継続時間ハザードマップは水防法第14条に基づいて作成しています。想定最大規模降雨に伴い河川がはん濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。



ハザードマップの説明

洪水ハザードマップ



浸水深の凡例	
	10.0m～20.0m未満の区域
	5.0m～10.0m未満の区域
	3.0m～5.0m未満の区域
	0.5m～3.0m未満の区域
	0.5m未満の区域

淀川・木津川

(国土交通省近畿地方整備局 平成29年6月14日公表)

○前提となる降雨 想定最大規模降雨

淀川 枚方地点上流域の24時間総雨量360mm

木津川 加茂地点上流域の12時間総雨量358mm

船橋川・穂谷川・天野川・藤田川・北川・前川

(大阪府枚方土木事務所 令和2年3月25日公表)

○前提となる降雨 想定最大規模降雨

	24時間総雨量	1時間最大雨量
船橋川流域	1150mm	143.0mm
穂谷川流域	1150mm	140.0mm
天野川流域	1038mm	115.0mm
藤田川流域	1150mm	147.0mm
北川流域	1150mm	144.0mm
前川流域	1150mm	146.0mm

早期の立退き避難が必要な区域 (水害時)

家屋が倒壊するようなはん濫や河岸の浸食が発生するおそれのある区域や、家屋の上の階も水没するおそれのある区域、長時間浸水する区域は、早期の立退き避難が必要な区域です。このような区域では、屋内に留まることにより直ちに命に危険がおよぶおそれがあるため、災害時は避難情報に従って安全な場所に速やかに避難してください。

指定区域の種類		発生する現象と避難行動	
早期の立退き避難が必要な区域	家屋倒壊等はん濫想定区域	洪水はん濫 ハザードマップ凡例 	 木造家屋が倒壊するおそれがあることから早期の立退き避難が必要。
		河岸侵食 ハザードマップ凡例 	 家屋が倒壊するおそれがあることから早期の立退き避難が必要。
	家屋が水没するおそれのある区域 (浸水深3m以上)		上の階でも浸水するおそれがあることから早期の立退き避難が必要。
	浸水継続時間が24時間以上続く区域		浸水が長期にわたることが想定されることから早期の立退き避難が必要。浸水深が浅い場合や高層階の居住でも、生活に支障が生じる場合がある。

内水・土砂災害ハザードマップ



浸水深の凡例（内水）

- 0.5m未満
- 0.5m～1m未満
- 1m以上

◎前提となる降雨1時間雨量108mm

土砂災害の凡例

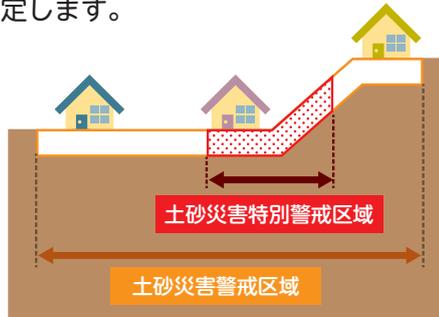
- 土砂災害特別警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害特別警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

特別警戒区域と警戒区域（土砂災害時）

基礎調査を実施して、土砂災害のおそれのある区域を指定します。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

警戒区域のうち、急傾斜地の崩壊等が発生した場合には建築物に損傷が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域



※急傾斜地の崩落ケース

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

急傾斜地の崩壊等が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域

凡例の一覧【防災関連情報】



第1次避難所



拠点応急救護所



その他公共の施設



第2次避難所



初期救急医療機関



生涯学習市民センター



広域避難場所



警察署・交番



図書館



一時避難場所



消防署・消防出張所



水防組合



福祉避難所



消防団車庫



備蓄倉庫



地域災害拠点病院



市役所・支所



防災行政無線屋外子局



特定診療災害医療センター



その他市の施設



ヘリポート



枚方市災害医療センター・災害医療協力病院



その他府の施設



水位観測所



水位カメラ



その他国の施設



アンダーパス